

議案第1号

2025年度事業計画 (案)

平成7年(1995年) 1月17日の阪神淡路大震災から30年の月日が経ちました。震災での教訓は生かされているでしょうか。昨年8月28日に和歌山県津波防災センター「稻村の火の館」へ防災の体験学習研修に行きました。命を守る「防災の大切さ」を学びました。

近年は、地球温暖化の影響で予想を上回る降雨があり、また南海トラフ地震では30年以内の発生確率が85%と予想されています。それらを考慮した防災減災対策が急務となっている中、改めて避難所の整備や備蓄品の整備を自信を持って言える防災減災への取組みを進めます。

災害は待ってくれません。日頃から身の安全を第一に考え、それらを想定した避難訓練や前年度購入した避難所資器材を活用した訓練等を実施し、近隣同士が支え合い「命を守るまちづくり」に努めます。

「光明小校区まつり」や「とんどまつり」「光明フェスティバル」と恒例の行事で親睦を深めいざという時にコミュニティの力で地域を守りましょう。

また「一般コミュニティ助成事業」で購入しました櫛を中心に「光明フェスティバル」や「校区まつり」で「光明音頭」等を踊りました。今年度も櫛での事業を企画し”和あるふるさと”を皆様と一緒に作って参ります。

主な活動

1. まちづくり計画の充実

- (1) 令和7年後期計画(R8~R12)の策定をし地域毎のまちづくり計画の実現をめざす
- (2) 行政と市民の協働、市民と市民の協働によるまちづくりを進める
- (3) 広報活動の充実と「ほのぼの Vol.82・83」誌の発刊
- (4) 各部活動の活気ある取組み

2. 交流と温もりのあるまちづくり

- (1) 「第41回光明小校区まつり」7月夏休みに入った最初の土曜日に体育館で実施
- (2) 「第3回光明フェスティバル」11月第2土曜日に実施
- (3) 高齢者の見守りと生活支援相談への取組み
- (4) 地域福祉への取組み
- (5) 「とんどまつり」の1月10日土曜日に実施
- (6) 「子ども防災訓練」シェイクアウト訓練、とんど祭りの芋焼き上がり時間までの間に実施

3. 安全で安心なまちづくり

- (1) 「安全福祉マップ」「いざの時のガイドブック」を生かした取組み
- (2) 子どもの安全と健全育成の推進
- (3) 令和元年10月、市へ提出した光明小学校区地区防災計画に沿った地域防災の取組み
- (4) 防災研修会の実施
- (5) 交通事故から身を守る取組み